

# 和勞働新報 外號

本紙定價	一ヶ月 金二十錢
每月二回	五日 二十日 發行
廣告料	十六字 一行 金五十錢
發行所編輯印刷人	窪田益太郎
東京市小石川區久堅町八五	
日本勞働新報社	

## 悲痛極まれる

### 官業労働者大會宣言

#### —全國労働者奮起の烽火—

親愛なる諸兄弟よ!!

俺達は官業工場に長い間重い責任と絶大の勞力をもつて盡せるだけ盡して來た。而してその効果は實社會に美くしいと云ふもの尊いと云ふもの總てに渡つて現はれて居ることは誰一人として異議をさしはさむ餘地はないのだ。

目を開いてよく見給へ。國家の擁護とその進展の目ざましさを。然るに當局が茲に軍備を制限して國際的平和を曲りなりにも成しこげ様とした結果は俺達軍需品の製造者に減給或は失職の憂目をもつて見舞つて來た。俺達の同志は何十回となく當局の誠意ある對策を講ずる様東奔西走したが何等耳をかさない。

俺達は現在社會に於ける資本團の獨裁的政治下にあつて俺達の實生活に何等没交渉にして自己階級の利權を得ることのみ汲々として居る彼等は今更物珍らしい感じはしないのだ。けれども弱く小さい慮げられた俺達の血の中には國家を思ふの念が未だに高い熱度をもつて循環して居るのだ。彼等の採りつゝある亡國的政策殊に不合理なる産業組織に對しては非を掲げて絶叫することは俺達の重大責任問題なのだ。

嘗て大阪公會堂に開かれたる官業労働者總同盟大會に於いて決し更に當局に提出したる決議事項に對する確答を求むべく尙軍縮に依らざるも事業の縮小によつて生ずる失業者の救済方法と、失業や減給によつて苦しむべき物價は依然暴騰の率を示して居る當局は是れを見て何とするか。を七月十一日首相官邸に加藤首相を訪ひ詰問したが何れの項に涉つても研究中とのみ言つて居る。然らば研究中は絶対に誠首者を出さぬか。

と責めたが「都合によつては誠首する」と言葉は左右にして眞意を言はないのだ。

どうだ兄弟!! 軍備縮小による軍人の失職者には俸給の二ヶ年乃至三ヶ年分(左官級に一萬圓)を支給することに決定して居る。と工廠の各製造所職員の中に誠首者を出すことを言渡した爲に職員は現に怠業状態あることと事實であり俺達の誠首の時機も迫つて居ると云ふ事も愚なる考へではないのだ。誠首の時機は今日尙研究中とは何等よき對策の無いことを示して居るんだ。當局者は俺達に曖昧の言葉をもつて接し更に變裝したる警察官をして追ひ拂ふとしたのだ。

奇なる哉? 怪なる哉? 暴なる哉? 慘なる哉? 國家の爲めに汗と血とを捧げ盡した善良なる俺達を今や切り捨てやうとして居る。このとき最早ちつとして居られないのだ。俺達は少し計りの目の先勘定でオベツカすることはやめやう。オベツカを提供して得た合法的だとか、紳士的だとか、オンケンだとか言ふことは俺達が何時になつても浮ばぬ不必要なことだ。

親愛なる諸兄弟よ!!

今の今まで兄弟等と力を合せて運動した結果の報告は實にこの一片の紙に現はれた文字と苦痛の泪とである。おいオンケンなる奴隷よ、紳士的の馬鹿者よ、従順猫の如きオベツカ職工よ。

この際は裏切りするやうなこと。友達を食ふやうなこと。はせまいだらうな。異動な俺達の言ふことに腹が立つなら立て、見ろ。さうして腹の中に縮こまつて居る良心によく聞いて見る。俺達の言ふことは皆なの爲めになることなのだ。

目覺める。... 目覺めた時のお前等こそ眞面目の労働者だ。朋友だ。兄弟だ。最早冷静に考へる必要もないだらう。團結したこの大なる力をもつて一齊に進まうではないか。さうして勇敢に大膽に、俺達の望む一切のものを得やうぢやないか。

### 官業總同盟

### 小石川労働會

大正十一年七月

### ○國際労働代表默殺

國際労働代表問題に就て關東關西の各労働組合の態度は「各工場を單位として労働團體を閉却せること、並びに國際労働會議は労働者の假面をかぶれる資本家會議に外ならず」との意味に於て國際會議及び労働代表を默殺しつゝあり。

八月三日日本會創立紀念日を、同月六日の第一日曜日に祝賀會を執行致します